

## 平成26年度3回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

日 時 : 平成26年8月19日(火) 15:00~18:00

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者 : 8名

安里邦子(中部徳洲会病院)、平安政子(那覇市立病院)、宮里貴子(北部地区医師会病院)、当間豊(県立中部病院)、宮國絵梨奈(沖縄県立中部病院)、仲本奈々(琉大病院がんセンター)、天野明日香(医療の質向上センター)

欠席者 : 戸倉さおり(沖縄県立宮古病院)、翁長道代(県立八重山病院)

### [報 告]

1. 平成26年度第2回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨(資料1)

平成26年度第2回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。

### [協 議]

1. 7つの専門部会の在り方について(資料2)、ロジックモデルの見直しについて(資料3)

先日開催された第2回がん診療連携協議会でがん政策部会より、7つの専門部会の在り方について見直しが提案された。県の計画である「Ⅲ対策 (5)がん登録」「Ⅳ今後、調査・検討する事項」「Ⅴ進行管理」と協議会の計画である「3. がん登録を中心としたがん対策進捗管理のための情報基盤の構築」「1.1. 計画の進捗管理など」が、がん登録部会が関わっている。広い意味でのがん登録を中心としたがん対策進捗管理のための情報基盤の構築を考えた場合、どこまで関わるのが可能か、資料2に基づき協議された。県や政策部会が求めている情報をあげることは、新しくデータを集めなければ情報として利用できないものが多く、また、指標を担当する分野が多岐に渡っていることから、がん登録部会の範囲を大きく超えており現状としては難しい。指標の振り分けを行い、がん登録部会で実施可能なものを明確にし、政策部会へ戻すことが承認された。

2. ロジックモデルの見直しについて(資料3)

資料3に基づき、次年度のがん登録部会事業計画について再度確認され、センター長の増田より以下の提案がなされた。施策10のQIによる測定・評価について、診療医への今年度中のフィードバックを念頭に進めていく。第2回がん登録部会で協議された2008年症例の5年生存率を算定することで施策6を進め、がん診療連携協議会で発表していく。県がん診療連携拠点病院集計報告書の説明会を行う機会を設けていく。以上の内容を重点的に行うことで承認された。

3. 平成26年度第2回院内がん登録研修会について(資料4)

資料に基づき、第2回院内がん登録研修会の日程について協議した。開催日は平成26年11月8日(土)か同月15日(土)で、講師である中村文明先生と日程調整を行い決定し、参加対象者は前回参加できなかった施設を優先、席に余裕があれば前回受講した施設も参加可能とする。早めにチラシの配布を行い広報していくことが承認された。会場の予約確認を行うこと、部会委員は運営として参加することが確認された。

4. 日本診療情報管理学会の演題について（資料5）

資料5に基づいて、協議がなされた。

資料5①：診療の質指標（QI）を用いたがん医療の質の評価を行うための

データ源に関する比較検討（仲本）

特に提案等なし。

資料5②：院内がん登録実務者による日本版CSの実施可能性に関する検討（安里）

スライドの数について。〈はじめに〉に、CSについての説明とCSのメリットについての文言を追加。採録についての説明の追加。〈目的〉の文言変更。〈結果〉4を1に持っていく。結果のスライドを3枚にする。CSの画面コピーを画像で示す。フォントの変更。〈項目不明の割合〉を〈採録率〉として結果に示す。提案を踏まえて〈考察〉を考えていく。

資料5③：診療の質指標（QI）を用いた沖縄県の胃がん質評価の経年変化の検討（平安）

〈目的〉にQIの測定を行うことを院内に告知した文言を追加する。〈方法〉の2の文言は削除。ピックアップしたQIの11項目を示す。QIを測定したことによって、どのような変化があったかわかるデータを2つくらいは示す必要がある。カルテの記載がよくなった傾向がみられた文言を入れる。診療医師個人による行動変異はみられたが、病院組織として改善しなければ行動変異としてデータに表れてこないという文言を入れる。

以上、部会委員から提案がなされ、それぞれ担当が対応することとなった。

5. 平成26年度がん登録部会委員一覧（資料10）

特になし。

6. 次回の開催日程について

今回は2014年10月21日（火）15：00～に開催することが承認された。